

Dell PowerProtect Backup Service

SaaSアプリケーション、エンドポイント、ハイブリッドおよびクラウドネイティブ ワークロード向けのサイバーレジリエンス

セキュリティと拡張性に優れたプラットフォーム

- 100% SaaS、インフラストラクチャの管理が不要
- 数分で構成完了
- オンデマンドの拡張性
- グローバルなクライアント側重複排除
- 24時間365日の管理データ検出と対応
- ランサムウェアリカバリーを迅速化

サポート対象のワークロード

- Microsoft 365、Google Workspace、SalesforceなどのSaaSアプリケーション
- デスクトップやノートパソコンなどのエンドユーザー デバイス
- NAS、Microsoft SQL、Oracle、Dell PowerScale、VMwareなどのハイブリッド ワークロード
- Azure VMやAWSなどのクラウドネイティブなワークロード
- クラウドベースのモニタリングと分析

コンプライアンスとガバナンス

- 長期保存
- 訴訟ホールド
- 自動化されたコンプライアンス
- 統合検索
- 電子情報開示
- レポート

データを完全に管理する

企業がクラウドファースト戦略を採用するなかで、今までのサイバーレジリエンスの制約や複雑さがより明らかになってきています。そのため、オンプレミスとクラウドの両方のワークロードに対して同等の保護レベルを確保する新しいサイバーレジリエンス アズ ア サービス戦略を策定する必要性が高まっています。戦略を策定する際には、ほとんどのSaaSプロバイダーが包括的なサイバーレジリエンス ソリューションを提供していないことを考慮することが重要です。これにより、組織全体に分散している各種のデータがもたらす無数のニーズへの対応に既に苦労しているITチームは、新たな課題に直面しました。

たとえば、次のような課題です。

- 複数の異なるデータ ソース：多様なシステムやサービスにわたってデータ ソースが分散しています。たとえばエンドポイント、物理サーバーと仮想サーバー、SaaSアプリケーション（例：AWS、Azure VM、Microsoft-SQL、Oracle、ファイル サーバー、VMware、Nutanix）などです。
- データの急増：組織のITインフラストラクチャ全体でデータがあふれています。このようなデータを十分に可視化できなければ、IT部門はストレージコストを最適化することも、適切なデータ保持ポリシーを適用することも、データ検出要求に迅速に対応することもできません。
- 新しいクラウド ワークロード：組織がワークロードとサービスをクラウドに移行しようとする際、クラウド関連の一連の作業が新たに発生します。移行により、オンラインとクラウドベースのデータリポジトリが混在することになります。データリポジトリが混在していると、サイバーレジリエンスにおけるギャップが生まれるだけでなく、すでに手一杯になっているITチームにさらなるプレッシャーがかかります。

ソリューション：Dell PowerProtect Backup Service

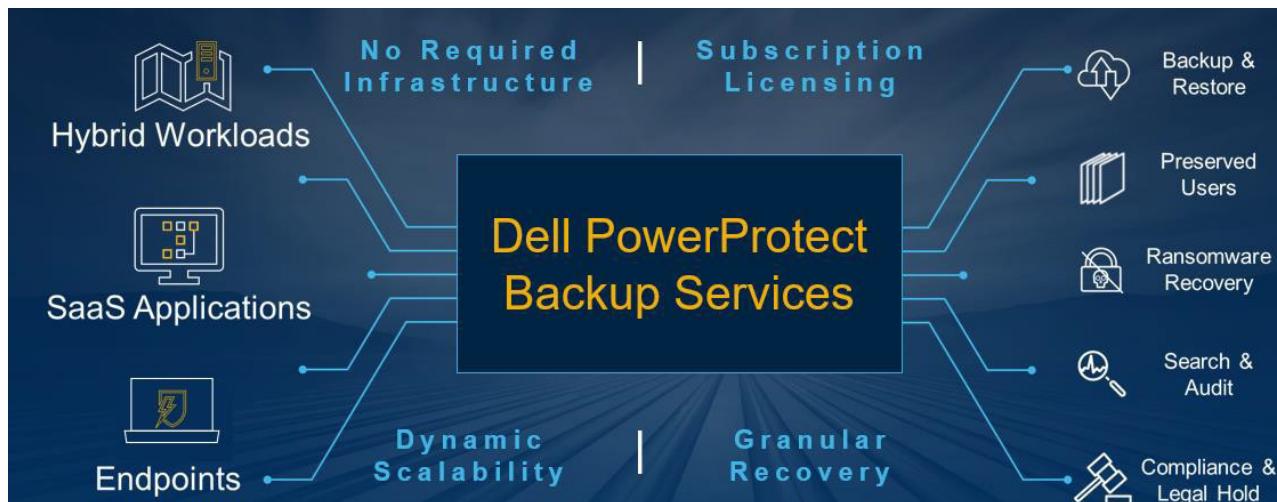
PowerProtect Backup Serviceは、長期データ保存と自動化されたコンプライアンス機能を備えた、堅牢で安全なバックアップ アズ ア サービス ソリューションを提供します。お客様は統合コントロールを通じて、SaaSアプリケーション、エンドポイント、ハイブリッド ワークロードとエンタープライズ ワークロードを一貫性のある方法で効率的に管理できます。PowerProtect Backup Serviceは、制限のないオンデマンドの拡張性を備えており、柔軟性、効率性、制御を確実にもたらします。

セキュリティと拡張性に優れたオンデマンドのサイバーレジリエンス

Dell PowerProtect Backup Serviceは、クラウド インフラストラクチャを利用して、ビジネスのSLAを低TCOで達成するために必要なレジリエンスとスピードをもたらします。Dellがソリューションのメンテナンスを担当するため、プラットフォームは常に最新機能を備えた、最新の状態で維持されます。インフラストラクチャの管理が不要なため、数分で使用を開始できます。

PowerProtect Backup Serviceは、以下のような独自の機能を提供します。

- 監視と管理を一元化
- 操作不要の自動機能アップデート
- 法令遵守
- ソース サイドの重複排除
- 移動中のデータと静止データの暗号化
- クラウド間でのバックアップリストア
- 直感的で適応性に優れた生成AIアシスタント



SaaSベースのアプリケーションの保護

SaaSアプリケーション向けPowerProtect Backup Serviceは、コンプライアンスと訴訟ホールドを自動化するなど、統一されたサイバー レジリエンス、管理、情報ガバナンスを提供します。単一のダッシュボードで、Microsoft 365、Google Workspace、Salesforceを完全に可視化できます。

エンドポイントデバイスの保護

エンドポイント向けPowerProtect Backup Serviceは、デスクトップとノートパソコンに対する一元的かつセキュアな保護を実現します。また、オフィス内でも外出先でも、エンドポイント デバイスを確実に保護します。IT管理者は一元化されたクラウド ポータルから、クラウド バックアップおよびリストアの操作をリモートで管理できます。

ハイブリッド ワークロードの保護

ハイブリッド ワークロード向けPowerProtect Backup Serviceでは、仮想化環境、データベース、ファイル サーバー、ネットワーク接続型ストレージ(NAS)のサイバー レジリエンスを、組織で一元化できます。また、グローバル重複排除、自動長期保存、無限拡張などの高度な機能を提供します。オンプレミスでもクラウドでも、実行場所にかかわらず、ハイブリッド ワークロードを保護します。

クラウドのワークロードの保護

スナップショット オーケストレーション、分離されたバックアップ コピー、ディザスター リカバリーにより、データ ロスやサイバー脅威からAWSとAzureのVMワークロードを保護します。

パーソナル生成AIアシスタント

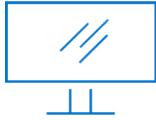
PowerProtect Backup Services AIはバックアップ アシスタントであり、すべてのユーザーが効率的で堅牢なサイバー レジリエンス プログラムを実行するための知見と先見性を得られるように設計されています。PowerProtect Backup Services AIは、ユーザーとの会話に基づいてアドバイスや提案を行います。またサイバー レジリエンス環境を継続的に改善するよう設計されています。生成AI機能を利用すると、経験豊富なバックアップ管理者がさらにスマートな意思決定を行えると同時に、経験の少ない管理者でも専門家のようなパフォーマンスを発揮できます。

PowerProtect Backup Serviceを利用してデータの安全を守る

今日の動的なビジネス環境では、クラウドの俊敏性と柔軟性を活用することが不可欠です。Backup Servicesを利用すると、クラウド環境をシームレスに操作しながらデータを保護できます。具体的には次のとおりです。

- 入出力料金の排除：PowerProtect Backup Serviceでは、データ転送に追加のコストは生じません。予期せぬ料金が発生しないため、重要な作業に集中できます。
- 全面的な可視化：クラウドベースのソフトウェア アズ ア サービス(SaaS)アプリケーションの急増に伴い、適切なセキュリティと情報ガバナンスの維持が最重要事項になっています。PowerProtect Backup Serviceを利用すると、組織は場所にかかわらずデータを完全に可視化できます。
- 予測可能かつ制御可能なコスト：当社のクラウドベースのサイバー レジリエンス ソリューションなら運用がシンプルになります。インフラストラクチャ管理に悩む必要はなく、シンプルに保護を合理化できます。バックアップ、ディザスター リカバリー、長期保存のいずれであっても、PowerProtect Backup Serviceがあれば対応できます。

PowerProtect Backup Serviceが提供するサイバー レジリエンスは安全で手間がからないため、お客様は重要なビジネス イニシアティブに迅速に対応できます。



PowerProtect Backup
Servicesの[詳細](#)



デル・テクノロジーズのエキスパートへの
[お問い合わせ](#)